

★2月2日自衛隊を中東派遣！

海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」が2日、中東地域に出発した。防衛省設置法「調査・研究」を根拠に国会の議決を経ず閣議決定のみで派遣。安倍首相は「自衛隊派遣違憲」ボードに「攻撃の発言」は違和感あり。

★「緊急事態条項」に要注意！

新型肺炎ウイルスを口実に「緊急事態条項」が、自民党、維新の会などから急浮上しているが、立憲民主党の長妻昭議員も「とんでもないことで、現在の法律で充分対応できるのに、どさくさに紛れて改憲狙いに動きだ」と、山本太郎氏も「火事場泥棒みたいだ」非難が多く寄せられている。

BSのプライムニュースで自民党松川るい参院議員は「今回、日本が緊急事態への対応力強化の必要を感じたが、決して憲法改正の理由にはならない」と発言、自民党にも分かっている議員はいると思った。

★母親大会で印象的だったこと（北部コミセン）

各務原自衛隊基地のウォッチングを10数年続けている鷺見さんの話で印象に残ったことは、

*住民10000人にアンケートを配り350枚回収、一軒一軒回って基地への要望を聞いた。

*すべての航空機機種を持つ基地なので毎日テスト飛行のため、騒音がひどいという声が多い。

*人気の航空祭は自衛隊の宣伝でしかなく、中止を求め続けている。

航空博物館も戦争の反省を前提にした展示であるべき。

現役教員立ち上がる（羽島北高 西村さん）昨年「変形労働時間制」国会で成立

ただし今後、実施するかしないかは自治体（各県単位）で決定

先日東海テレビ放映の「聖職のゆくえ」で話題の「教員の働き方改革」に西村祐二さん挑戦。

給特法は、給料月額4%分を「教職調整額」として支給するよう定めている。他方でそれを支給する代わりに、「時間外勤務手当及び休日勤務手当は、支給しない」と規定している。給料月額4%分をあらかじめ支給する代わりに、何時間にわたって労働しようとも「残業代はゼロ円」ということだ。

もともと、以前から「給特法は憲法違反だ」との論議は有ったが、この度西村さんが孤軍奮闘の活動。

西村祐二さんが「変形労働時間制」に反対する理由

- ① 統計上の残業が減り、改革が進まなくなる。
- ② 延長した定時に合わせて仕事が増える。
- ③ 夏休み前に倒れてしまう。
- ④ 子育て・介護世帯が働き辛くなる。
- ⑤ 残業は結局「自発的」なので規制が働かない。
- ⑥ 部活顧問の強制が強まる。
- ⑦ 年休を使う機会が失われる。
- ⑧ 夏に休める保証はない。

しふやま

2月1日の新聞報道で知った。各学校に1名ずつ、いじめ対策監を設置すると市の教育委員会が発表した。他県では不登校担当が置かれているところもある。

そこで思うのだが、もちろん目配り気配りする人を予算化するのはいいことだけれど、つまるところ、校内でのメンバーでは、それができないことを意味する。それに問題があると考えると、いじめ対策監ではなく担任に子供に目が行くよう対策する人員こそ、今必要なのは。例えば教師を助ける人、先生に子供の方に目が向くよう指導する人の増員。本来なら校長の仕事といえよう。

それともう一つ、子どもたちの置かれている環境について、いじめが良くない事ぐらい理屈では分かっている子供たちであろうのになぜか？

世間もこの点をじっくり考える時ではないだろうか。

（平塚）